

**(案件名) 2022-2024年度非定型(一体化・SATREPS)事後評価対象案件に係る内部評価支援業務**

(公告日: 2022年11月22日/調達管理番号: 22a00764) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構  
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 12	第2 業務仕様書(案) 1. 業務の背景	一体化とはどのような案件か。	一般的に事後評価は1つの事業に対して1つの評価報告書にて評価分析を行います。2つ以上の関連する事業で相乗効果がある場合、一体化評価として1つの評価報告書にて評価分析を行い、1つのレーティングを付すこととしており、そういった案件を一体化評価案件と呼んでおります。具体的には技術協力プロジェクトのフェーズ分けされた案件群や、同時期に無償資金協力で整備された施設を活用した技術協力案件の組み合わせの案件群など同様の目的を持つ案件やが対象となります。
2	共通		定型と非定型の双方の入札に参加することはできるか。	競争参加資格を有し、双方の案件受注できる体制が整っていれば入札可能です。
3	P. 14	(2) SATREPS 案件にかかる現地調査支援	「内部評価支援コンサルタントも事業関係者へのインタビューに同行もしくはオンラインインタビューに同席」の部分は現地渡航を伴う可能性があるように読めますが、その理解で正しいでしょうか？また、その場合はp. 17の表の(2)「1日/件×8件」等の中には日本からの移動日も含まれるのでしょうか？	基本的にはオンラインで支援いただくことを想定しております。
4	P. 14	(2) SATREPS 案件にかかる現地調査支援	日本国内の大学(多くは地方)(日本側研究者)への聞き取りに係る想定をご教示ください。具体的には、日本側研究者へのコンタクトを想定しているか、している場合、事務所担当者(多くはナショナルスタッフ)がオンラインで行う想定か、日本人職員が日本語で行う想定か、内部評価支援コンサルタントの同席が想定されているか(p. 14「(2) SATREPS案件にかかる現地調査支援」の中に含まれるか)等です。	日本側研究者へのコンタクトを想定しております。事務所により、担当者が異なり、ナショナルスタッフもしくは日本人職員になります。日本語で対応可能な担当者場合は日本語で、英語のみの場合は英語でのインタビューを想定しており、そちらのインタビューにて内部評価支援コンサルタントに同席いただくことを想定しているものです。
5	p. 16	(5) 評価結果票(案)の翻訳	「評価結果票(案)を翻訳し、ネイティブチェックを行う(英文から和文または和文から英文への翻訳)」について、英文から和文に翻訳する場合、元の英文についてもネイティブチェックを行うのでしょうか。また、ネイティブチェック費用は応札者の判断で見積計上させていただきますでしょうか。	英文も公表する文書となりますため、ネイティブチェックをお願いいたします。翻訳経費に含む形で、見積計上いただければと思います。
6	p. 17-18	表(「業務量目安(注2)/成果品」欄)	p. 12「1. 業務の背景」の文中には、2022年度9案件、2023年度12案件、2024年度16案件程度とあり、p. 17-18表の(1)及び(2)記載の件数にもとづくと、例えば2022年度は全9件のうち8件がSATREPS、1件が一体化と理解しました。しかし、そうであれば、(3)～(5)に記載されている各種件数は、p. 12記載の各年度の案件数と整合していないようです。本表の件数全般につきまして、改めてご確認頂けますでしょうか。	p. 12「1. 業務の背景」の文中及びp. 17-18表の(1)の案件数(各年度新規選定予定数)について、一体化とSATREPSの内訳は2022年度9案件(一体化8件、SATREPS1件)、2023年度12案件(一体化8件、SATREPS4件)、及び2024年度16案件(一体化8件、SATREPS8件)程度となる見込みです。なお、P. 18に記載のとおり、対象案件数はあくまで見込みであり、今後変更の可能性がございますこと、ご了承ください。また(2)～(5)に記載されている各種件数は、例年の傾向から、進捗の歩留まりを勘案した数字となっております。